

学校だより

自分も人も大切に

～思いやり
・チャレンジ
・しなやかな心～



令和3年度 第11号
2021.6.14発行
葉山町立長柄小学校
校長 益田孝彦
Tel. 046-875-6860
Fax. 046-876-0682

<http://www.town.hayama.lg.jp/nagae>

◇◇ GIGA スクール構想 長柄小学校編パート12 こんな失敗もありました ◇◇

Chromebook を活用した6月10日の朝の集い「校長サイエンスショー」は、言ってみれば「壮絶な失敗」を経験することになりました。実施前より、うまくいかないかもしれないといった想定はしていたのですが、悪い予測がすべて当たり、予測以上にうまくいきませんでした。予定では、「出題動画」「3年生以上が取り組むテスト形式の問題」「正解動画」を用意して、1・2年生では、担任教師だけが Chromebook を使って、サイエンスショーを視聴する。3年生以上では、各個人が Chromebook を利用して、サイエンスショーを視聴してもらう構想でした。実施前の悪い予測とは、3年生以上の12クラスの児童が同時視聴すると、Wi-Fiの取り合いが生じ、視聴できない児童が生まれるのでは？という懸念です。今まで同時に350人を超す児童が、同じ時間帯に動画視聴したことはなく、うまくいかない可能性を心配しておりました。

悪い予測は的中し、まして動画の視聴なので、繋がった児童も動画が途切れ途切れになってしまいました。先生を含めクラス全体が繋がりにくいクラスもありました。事前に放送で「うまくいなくても、ギスギスしないで楽しんで」と呼びかけ、朝の集いでうまくいかなかった場合は、折を見て視聴してもらうよう先生にも児童の皆さんにもお伝えし、学校が初めてトライする壮大な実験と認識が共有されていたので、大きな大きな混乱となったわけではありませんが、今後を考える上で、大変貴重な、様々な体験（動画が途切れる、音が聞こえづらい、トラブルの抜け出し方が分からない等）を学校としてすることができました。



◆◆ 朝の集いサイエンスショー「バルーンの大きさはどうなる？」 ◆◆

サイエンスショーの中身を紹介します。パイプでつながれた2つのバルーンがあります。左は大きくふくらんだバルーン、右はまあまあふくらんだバルーン、口をねじって、水枕用の締め金で空気が行き来できなくなっています。締め金を外し、ねじりをとると大きさはどうなる？というのが問題です。

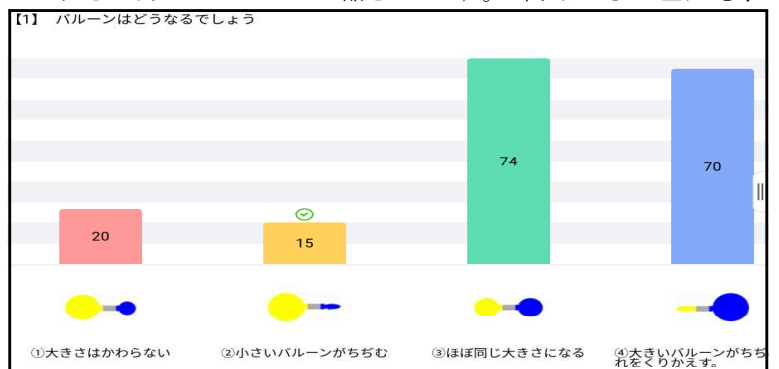


写真を見れば一目瞭然。実は多くの方の予想に反して小さい方のバルーンが縮むのです。今回はその理由も、選んでもらいました。選択肢は以下の4つです。

- ①風船は、はじめの方がふくらみますが難しい。
- ②風船は、先端の色の濃いところに、針を刺しても割れない。
- ③風船は、灯油で割れる。
- ④風船から、風がいきよ良く吹き出してくる。

正解は、何番だと思います？ ④を入れたので、ほとんどの児童はそれを選んでしまったわけですが、正解は①なのです。

風船は、ゴムの皮が厚いはじめの頃の方が、元に戻ろうとするゴムの力が強く、なかなか膨らみません。いったん膨らみ始めてしまえば、簡単にスースーと空気が入り膨らませやすい経験は、実は多くの方がしているはず。それが理由で、小さい方が縮むのでした。昨年のコロナ休業中に、動画配信をいたしました。今回はそれが長柄小で実現できるのでワクワクしていました。結果的にはうまくいかなかった部分もありますが、Chromebook で回答を寄せてくれて児童は、1時間目開始前までに179人。あとの児童は紙媒体で参加でした。みんなの理科的探究心や、理由を考えて応える能力が向上すると思えました。



◆◆ 神奈川県 PTA 協議会 広報紙コンクール にて、長柄小学校が優良賞を獲得しました。 ◆◆

令和2年度発行の広報紙コンクールにて、本校の「かいだん」が、見事優良賞を獲得、日本 PTA 広報紙コンクールにさらに進むことが分かりました。コロナ禍の中での工夫の末の受賞は、大変有意義なことと思います。昨年度そして本年度の広報委員会の皆様に、心より祝意を届けたいと思います。おめでとうございます！

◆◆ PTA クリーンキャンペーンに、48名ものご支援をいただきました。 ◆◆

6月7日（月）に、PTA クリーンキャンペーンが実施されました。

私も後半から参加いたしました。皆さんそれぞれの場において精力的に活動して下さった結果、写真のように多くの雑草等を除去することができ、学校の環境が一層向上いたしました。

平日のプログラムだったにもかかわらず、多くの方々に参加して下さったのは、学校にとっても大変ありがたいことだと認識しております。

次回の企画は、運動会前に当たる、10月13日（水）の予定です。今年度は、3回とも平日に実施ということですが、男性の参加もあり、土曜日等にこだわらなくても実施できることに気づかされる一年となりそうです。



◆◆ プール授業は、5年生に移りました。 ◆◆

6月9日は5年生がプール授業に出発しました。大きな混乱もなく実施できたようで、指導員さんから、たくさん教わることができていたようです。帰ってきた児童に聞くと、楽しかったと弾んだ声が帰ってきました。



◆◆ 6月7日（月）一斉下校訓練を実施しました。 ◆◆



想定としては、「台風の接近が早まり、通常の下校時刻を待っているのは危険と判断し、一斉下校に踏み切る」という設定です。今回従来のコース別に集まって下校するのではなく、学年ごとにまとまって下校する方法を実施しました。どちらがよかったのか等の検討を今後しっかり見極めていきたいと思えます。この一斉下校が一番現実的なのは、「葉山町に刃物を持った傷害犯が潜伏している」といったケースが起こった場合などだと考えます。今回の想定「台風」の接近の場合、そもそも朝の登校時点で休校判断していることが一番可能性が高いですし、「地震発生」の場合は、下校させず、学校での引き取りが基本になるはずだからです。ですから、一番起こりうる一斉下校ケースに対して有効な方法を見つけていければと思います。

◇◇ GIGA スクール構想 長柄小学校編パート13 少し考えてみる必要があります。 ◇◇

児童によっては、初めて手にするタブレット（Chromebook）は、触りたくて仕方がないもの（ロード・オブ・ザ・リング指輪物語でいう、指輪：マイ・プレシャスのように惹きつけるもの）なのかもしれませんが、だからといって、看過してはならない事態も、聞こえてくるようになりました。

Chromebook を扱うのには一定のルールを設けています。そのルールを守れない児童が出てきているのです。担任の指示を守らず、自分勝手に Chromebook を楽しもうと願う児童が一部に出ているようなのです。ルールを守るといふ原理・原則は、情報教育の要です。以前、ID とパスワードを他者に教えない資質を身につけさせないと、小学校の情報教育としては失敗だとお伝えしました。幸い、そここのところは皆よく守ろうという習慣・資質が身につけ始めているように感じる場面が多く出くわし安心しています。



一方、その他のルールにおいて、違反行為に気づいている級友がいても、自らの楽しみの追求に勝てずに、ルール違反を続けてしまう児童がいたり、極々少数ですが、他者の悪口・陰口を書き込む児童もいたりすることが報告されました。初めて扱う Chromebook 活用の場面で、そんな行為を学んで、どうするのでしょうか。正直、ルール違反や、悪口・陰口を書き込む児童には使わせず、取り上げてしまった方が、よほどその児童のために立派な教育のように感じます。

そんな児童に気づいてほしいことがあります。そんな行為がやがて習慣付いて、その行為の愚かさや、恐ろしさに気づけなくなった人が、ネット社会の闇を作り出しています。その行為の過ちに気づかせることができるなら、Chromebook を用いた学習には価値があります。しかし、気づかせることができないとしたら、長柄小学校の情報教育は失敗になってしまいます。もしかしたら、学校にとっての大きな分岐点を迎えているのです。保護者の皆様と一緒に、子どもたちに何を学ばせることが重要なのかを考えていきたいと思うのです。